

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

## 目次

### 週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	3
台湾	4
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	4
香港	4
米国 / カナダ	4
欧州	5

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性及完全性についていかなる表現もいたしません。

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

## 週間ハイライト

### 国際

#### ハードウェア

- **LG フィリップス LCD は新規公開の規模を縮小し 14 億米ドルを資金調達する予定。** 20 億米ドルを調達する予定だった。韓国と米国で来月同時上場する予定。株式新規発行と売出しを組み合わせる。

#### インターネット

- **クレジット・カード情報等の重要情報を盗み出すインターネット・ウィルスが蔓延中。** マイクロソフト OS の欠陥に付け込んでいる。欠陥を修正するソフトウェアは出したがもう一つ発見された。

#### モバイル/無線通信

- **メキシコの携帯電話運営会社テルセルはインフォマッチと北米で顧客が無線サービス利用者とメッセージを交換できる相互接続協約に調印。** インフォマッチはベリゾン等と相互接続している。

#### 半導体

- **アジア太平洋の半導体産業は今年世界最高の 27.4%成長と 908 億米ドルの売上高を記録する見込み。** 今後 4 年間は年率 14.3%の成長を遂げ、売上高は 1388 億米ドルになる見込み。

### 韓国

#### ハードウェア

- **韓国のハンソル LCD の第二四半期売上高は前年同期比 2.6%減の 1 億 1300 万米ドル。** 純利益は 220 万米ドル、営業利益は 480 万米ドルだった。前年同期の営業損失額は 250 万米ドルだった。

#### インターネット

- **国内最大の固定電話及びブロードバンド運営会社である KT は 7 月にインターネット玄関サイトを開始する予定。** オンライン業務の活性化を図る。新規サイト名は paran.com で 7 月 17 日開始予定。

#### メディア、娯楽、ゲーム

- **韓国の携帯電話製造各社はカメラ付携帯電話市場を主導している日本の製造会社に挑戦。** 韓国各社の市場占有率は合計 14%で、サムスン電子が 11.8%、LG 電子が 1.4%。日本は合計して 60%。

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

- SKテレコムは加入者130万以上が6月に小規模携帯電話運営会社に移行。同じ番号をそのまま他社で利用できることが大きな理由。第2位のKTフリーテルでは76万8,125の新規加入があった。

モバイル/無線通信

- LG電子は米国のシンギュラー・ワイヤレスとのGPRS技術に基づいた携帯電話供給契約を拡大。シンギュラーはSBCコミュニケーションとベルサウスの合併。2種のGPRS携帯電話機を供給する。

通信

- ハナロ・テレコムは長距離電話及び国際電話市場で占有率増大計画を発表。7月初めから長距離電話と国際電話に参入する。最初の3ヶ月は国際電話を50%割り引く。
- 韓国政府は市場での競争を促進するため「モバイル・バーチャル・ネットワーク・オペレーター(MVNO)」を導入する計画。11月末迄に最終計画が策定される予定でMVNOの導入時期が決まる。

## 中国

ハードウェア

- 日立とIBMの合併の日立グローバル・ストレージ・テクノロジー(HGST)は中国に5億米ドルの工場を設立する計画。HGSTはディスク・ドライブ売上高では世界第2位。生産開始は来年。

インターネット

- 中国政府は国家安全を害する情報拡散を防ぐためインターネット・サービス・プロバイダーが自主規制協約に参加するよう要請。インターネット各社は政府批判の芽を摘むよう指導されている。

メディア、娯楽、ゲーム

- 中国では第三世代携帯電話免許交付が遅延し消費者は多重携帯電話利用サービスに申し込む。GSMもシャオリントンも利用できる携帯電話の申し込みが増加する見込み。

モバイル/無線通信

- サムスン電子はサン・マイクロシステムズのジャバを搭載した携帯電話機器を7月からチャイナ・ユニコムに供給。サンは中国でジャバを搭載したサービスをUniJa名で拡販している。

半導体

- インテルから機器を購入する予定の中国企業ナノテクは来年末迄の稼働開始を目指して6億5000万米ドルを投資し工場を建設する計画。新工場用にインテルから中古の機器を購入する。

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

## 台湾

半導体

- 日本の大日本印刷は台湾のコンピューター・メモリー・チップ製造会社の ProMOS に先進の 90 ナノメートル技術マスクを供与。両社は契約に調印した。

## シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- フィリピンの携帯電話台数は年末迄に 3000 万台に達する見込み。アルカテルは今後 3 年間で事業規模を 2 倍にする見込み。現在の携帯電話利用台数は 2500 万台。

通信

- シンガポール国内の通信会社は接続料金を下げるべきだという昨年 12 月の裁定を実施していないと海外のデータ通信会社が言明。AT&T、MCI、ケーブル&ワイヤレス等が述べた。

## 香港

IT

- 迷惑メール等撃退方について民間の意見を聞くため香港政府は 4 ヶ月の相談期間を設ける。電子メール、ファックス、SMS、MMS 等を含む。

モバイル/無線通信

- ハチソン・ワンポアは香港通信監督官庁に対して第二世代 CDMA の認可期間 5 年延長を申請。来年期限切れになる予定だった。CSL も第二世代携帯電話免許を保有している。
- ハチソン・ワンポアの第三世代携帯電話運営は来年末迄赤字続きの見込み。ムーディーズによる格付けは A3 で見通しは否定的。3G 加入者は今年 6 月末迄に世界中で 170 万。

## 米国/カナダ

ハードウェア

# IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

- イー・ベイはロクシオのナップスターを主力商品として販売促進しベスト・バイ・ドット・コムを通じて販売。ベスト・バイはロクシオの株式を最大 1000 万米ドル分条件として受領する。

## インターネット

- イー・ベイの株主総会は従業員用株式オプションを損益計算書で費用計上する株主の提案を否決。現在は財務諸表へ注記をしている。年末迄に会計基準が明確になる予定。
- アメリカ・オンライン (AOL) はオンライン・ダイレクト・マーケティングのアドバタイジング・ドット・コムを 4 億 3500 万米ドルで買収。AOL の買収は 2001 年のタイム・ワーナー買収以来。
- マイクロソフトのホットメールもデータ保存容量を拡大。競合他社が電子メール保存容量を拡大したため。インボックスの容量を 2 メガバイトから 250 メガバイトに上げる。
- イー・ベイはインドのオンライン・ショッピング・サイトであるバージー・ドット・コムを 5000 万米ドルで買収。バージーの登録利用者数は 100 万。インドのインターネット利用者数は 1700 万。
- セールスフォース・ドット・コムの新規公開価格は 11 米ドル。予想新規公開株価は 9-10 米ドルだった。11 米ドルの新規公開価格で時価総額は 11 億米ドル。資金調達額は 1 億 1000 万米ドル。

## 半導体

- インテルは新チップのグランズデールにある程度の数欠陥があったことを認める。新製品は消費者には納品されず問題は解決した。製造工程で付着させたフィルムを除去しなかったのが原因。

## ソフトウェア

- マイクロソフトは発展途上国でリナックスとの激しい競争に晒されアジアで新しいウィンドウズを早ければ 9 月に発売する予定。新商品名はウィンドウズ XP スターター・エディション。

## 通信

- ケスト・コミュニケーションズは 7 月中に法人用 IP 電話サービスを開始する予定。ノートパソコンから音声メッセージを送付できる。当初は米国中西部の諸都市、年末には大都市で利用できる。

## 欧州

### IT

- EU と米国は衛星技術についての協定に調印。現在 EU は米国国防省の GPS に依存しているが 2002 年に計画決定された 36 億米ドルのガリレオ計画が実施されることになった。

## IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年6月20日から2004年6月26日の週

### インターネット

- スペインのインターネット企業テラ・ネットワークスは傘下のライコス部門に対する4つの買収提案を検討中。テラは2000年にライコスを125億米ドルで買収したが現在の簿価は9680万米ドル。

### モバイル/無線通信

- ビデオ・ゲームのパイオニアであるトリップ・ホーキンスが資金援助したデジタル・チョコレートはフィンランドの携帯電話ゲームのソフトウェア制作会社であるスメアを買収。